

【科目名】理学療法学概論		【担当教員】佐々木 理恵子						
【授業区分】専門分野・(基礎理学療法学)	【授業コード】3-15-0535-0-1	(メールアドレス) sasaki@nur.ac.jp (オフィスアワー) 月、水、木 8:30～17:30						
【開講時期】1 年次後期	【選択必修】	事前にアポイントをとった上での来室が望ましい						
【単位数】1	【コマ数】15							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 今後、理学療法を学習する上での基礎となる (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし								
【講義概要】 (目的) リハビリテーション医学の発達に伴い、理学療法の範疇は拡大している。 理学療法を取り巻く状況(対象疾患、理学療法手技、職域、法律制度など)を理解し、理学療法の全体像を学修することを目的とする。 (方法) 資料を配布し、理学療法を取り巻く状況の概要を学び、理学療法の全体像を理解できるように講義を行う。								
【一般教育目標(GIO)】 ・理学療法の歴史を理解し、理学療法を取り巻く組織、法律や制度について理解する ・理学療法士を目指すうえで必要な知識(対象や治療手技、心理面)やその分野に求められる倫理について理解する ・理学療法発展のための教育および研究等について理解する								
【行動目標(SBO)】 ・理学療法の歴史を理解し、理学療法を取り巻く組織や法律を理解することができる ・理学療法士になるうえでの必要な知識(管理、適正など)について理解することができる								
【教科書・リザーブドブック】 なし(毎回、資料を配布する)								
【参考書】 適宜紹介する								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 筆記試験を行い評価する								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	0	10	100 点
評 取り込む力・知識	90							90

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢							10	10
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)						時間(分)
1	オリエンテーション	ディスカッション							
2	理学療法の基礎	講義	・講義内容を理解すること						30分
3	理学療法の歴史	講義	・講義内容を理解すること						30分
4	理学療法の法律制度	講義	・講義内容を理解すること						30分
5	理学療法の対象と治療手技	講義	・講義内容を理解すること						30分
6	物理療法について	調査	・調査を行い、調べた内容を理解すること						30分
7	理学療法の学問的体系と研究方法	講義	・講義内容を理解すること						30分
8	理学療法と心理的対応	講義	・講義内容を理解すること						30分
9	理学療法の活動分野	講義	・講義内容を理解すること						30分
10	介護保険制度	講義	・講義内容を理解すること						30分
11	医療事故	講義	・講義内容を理解すること						30分
12	個人情報保護の管理と対象者の権利	講義	・講義内容を理解すること						30分
13	理学療法記録のまとめ方	講義	・講義内容を理解すること						30分

平成 26～28 年度入学者用

1 4	理学療法の現状について (外部講師)	講義	・ 講義内容を理解すること	60 分
1 5	グループディスカッション	ディスカッション		

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。